

報告書抄録

ふりがな	ゆうひがおかきたいせき・おおしのはらにしいせき							
書名	夕日ヶ丘北遺跡・大篠原西遺跡							
シリーズ名	県営農業農村整備関係（県営田圃交流基盤・田圃空間整備）遺跡発掘調査報告書							
編者名	辻川 哲朗・木戸 雅寿・重田 勉							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 (電話) 077-528-4674			〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1732-2 (電話) 077-548-9780				
	発行年月日 平成19年(2007年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ゆうひがおかきたいせき 夕日ヶ丘北遺跡	やすし 野洲市	343	018	35° 05' 13"	136° 03' 26"	2003.07.10 ～ 2004.03.04	17,213m ²	県営農業 農村整備 (農道建設)
おおしのはらにしいせき 大篠原西遺跡	おおしのはら 大篠原	343	004	35° 05' 03"	136° 03' 10"	2004.05.10 ～ 2004.10.08		
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
夕日ヶ丘北遺跡	集落	弥生時代後期		土坑・溝		弥生土器		
	集落 (生産関連)	古墳時代後期		溝・竪穴住居・ 道路遺構・ 粘土採掘土坑群		土師器・須恵器・ 木器・石製模造品		
	集落	奈良時代～ 平安時代		掘立柱建物・溝・ 土坑・地鎮遺構・井戸		土師器・須恵器・ 緑釉陶器・灰釉陶器 銭貨・玉類等		
	集落	中世前期		掘立柱建物・溝・土坑		黒色土器・土師器・ 白磁・銭貨等		
	耕地	中世後期～近現代		上水道遺構・溝・野井戸		陶磁器・瓦・木器		
大篠原西遺跡	耕地	中世前期		溝・土坑・井戸		黒色土器・土師器		
	耕地	近世～近代		溝・水田		陶磁器		
要約	<p>夕日ヶ丘北遺跡・大篠原西遺跡は、滋賀県野洲市北部に位置する夕日ヶ丘丘陵周辺に展開した遺跡である。</p> <p>今回の発掘調査では、6～7世紀頃の須恵器生産に伴う粘土採掘土坑群、6世紀末～7世紀頃の道路遺構、8～10世紀頃の掘立柱建物群とそれに伴う区画溝など、11世紀末～13世紀頃の耕地に伴う諸遺構（溝など）・掘立柱建物など、中世後期以降の野井戸遺構、近代の上水道遺構などを検出した。</p> <p>須恵器生産に伴う粘土採掘土坑群は、近接する鏡山窯跡群に伴うものであり、当該期の須恵器生産の様相を示している。また、古代の掘立柱建物群は、条里地割と異なる特殊地割によって配置されるもので、時期ごとに中心を移動させながら、夕日ヶ丘丘陵北麓で展開している。中世前期の耕地関連遺構は、大半が条里地割に従ったもので、当該期に条里地割の面的拡大がはかられたことを示す資料である。野井戸遺構は、検出された一帯が野井戸に灌漑を依存する用水不足地であり、文献史料などの検討により、そうした灌漑形態が中世後期まで遡上する可能性が見出された。近代の上水道遺構は隣接する旧篠原村役場へ引水するためのもので、近代に新設された公共施設に伴うインフラ整備の一端を知る資料である。</p> <p>以上、今回の発掘調査によって、夕日ヶ丘丘陵周辺を含めた大篠原地区における開発過程の具体的様相を知る重要な手がかりが得られた。</p>							